

事業所名

アプリ児童デイサービス不動前

支援プログラム (参考様式)

作成日

R6 年

11 月

1 日

法人(事業所)理念	地域に根付き、関わるすべての人が「豊かな生活」の実現に貢献する。				
支援方針	<p>「集団だからできること集団でしかできないこと」</p> <p>①個々のニーズに合わせたアプローチ 集団療育は一見、個別療育とは異なるように思えますが、実際には、集団の中で個々の子どもニーズに応じた支援を提供することで、最大の効果が得られます。それぞれのご利用者が異なる発達段階や課題を抱えているため、集団の中でのアプローチも柔軟でなければなりません。</p> <p>②ソーシャルスキルトレーニング 集団療育では社会的スキル(ソーシャルスキル)の発達が重要な柱となります。ご利用者が他者と関わりながら、協力する力や感情を理解し表現する力を学ぶことができる環境を提供します。</p> <p>③楽しさと安心感を提供する場所 ご利用者たちが「みんなが大好きな場所」と感じられるような、楽しい雰囲気の中で学ぶことが重要です。楽しい活動や成功体験を通じて、自己肯定感を育み、自ら学びたいという意欲を引き出すことを目指します。</p>				
営業時間	平日 13時00分 学休日 9時00分	から	18時00分 17時00分	まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身の把握(毎回体温測定・気分把握)・生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所) 構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援(視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示) SST、ABAなどによる身体的、精神的、社会的訓練 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> バランスボールでの姿勢保持・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動 感覚過敏用のイヤーマフ配備など環境設定 外出散歩での歩行訓練と体力づくり 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 アプリチャレンジ(個別課題)でのブロック遊びなどによる微細運動および空間把握の認知形成の促進 SSTでのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮・感覚、認知の偏りに対するリフレーミング 季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> SSTでの自己紹介・気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 アプリチャレンジ(個別課題)での障がい特性に応じた読み書き・計算などの学習プログラムの提供 ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメント形成(面談で自尊心を高める・認める)・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ 一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ・役割分担のある遊びなどの協同遊び ルールの理解が必要なSSTや外出・イベントなどを通じた地域との交流 			
家族支援	保護者面談(半年に1回) 関係機関との連携	移行支援	進学先、就労先との情報共有 進学、就労、環境変化に向けての課題提示及び実践		
地域支援・地域連携	各関係各所との連携(相談支援事業所、学校、放課後等デイサービス、子ども家庭センター等) 自立支援協議会への参加	職員の質の向上	新人研修 内部研修(月に1度) 外部研修		
主な行事等	各季節イベント行事 誕生日イベント 外出イベント				